

青森県視覚障がい者情報センター  
令和6年度利用者アンケート集計結果

昨年実施したアンケートについて、送付数489名に対して97名の方からご回答いただきました（回答率20%）。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

集計結果は、以下のとおりです。ご意見・ご要望について、回答できるものは回答しています。皆様の貴重なご意見を、今後の情報センターの運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

※（ ）内の数字は割合（%）

## 1 アンケート結果

問1 あなたについてお聞きします

(1) 性別 ①男 47人(48.5) ②女 50人(51.5)

(2) 年齢

①19歳以下 0人(0) ②20代 1人(1)

③30代 2人(2.1) ④40代 5人(5.2)

⑤50代 14人(14.4) ⑥60代 29人(29.9)

⑦70歳以上 46人(47.4)

(3) 職業

①公務員 5人(5.3) ②会社員 5人(5.3)

③団体職員 2人(2.1) ④自営 15人(15.8)

⑤パート・アルバイト 9人(9.5)

⑥学生 1人(1.1)

⑦無職 58人(61.1)

(4) 居住地

- ①青森市 33人 (34. 4)
- ②青森市以外の市 42人 (43. 8)
- ③県内の町村 14人 (14. 6) ④県外 7人 (7. 3)

(5) 来館目的

- ①図書閲覧・貸出 4人 (17. 4)
- ②養成研修 2人 (8. 7) ③施設利用 4人 (17. 4)
- ④見学 1人 (4. 3)
- ⑤その他 12人 (52. 2)

問2 視覚障がい者情報センターの管理・運営について

- ※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満  
1 大変不満

(1) 開館日や開館時間について

- 5 34人 (46. 6) 4 6人 (8. 2)
- 3 33人 (45. 2) 2 0人 (0) 1 0人 (0)

(2) センターの清潔さについて

- 5 13人 (39. 4) 4 5人 (15. 2)
- 3 15人 (45. 5) 2 0人 (0) 1 0人 (0)

(3) 職員・スタッフの対応について

- 5 55人 (69. 6) 4 12人 (15. 2)
- 3 12人 (15. 2) 2 0人 (0) 1 0人 (0)

(4) 点字・録音図書の提供について

5 47人(54) 4 15人(17.2)

3 24人(27.6) 2 1人(1.1) 1 0人(0)

(5) 青い森通信について

5 44人(50.6) 4 14人(16.1)

3 29人(33.3) 2 0人(0) 1 0人(0)

(6) はまなすシリーズについて

5 32人(47.8) 4 10人(14.9)

3 24人(35.8) 2 1人(1.5) 1 0人(0)

問3 行事について ※参加した場合、5段階評価も

※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満  
1 大変不満

(1) 「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

5 11人(35.5) 4 2人(6.5)

3 16人(51.6) 2 2人(6.5)

1 0人(0)

(2) 「視覚障がい者情報機器操作講習会」について

5 4人(19) 4 2人(9.5) 3 15人(71.4)

2 0人(0) 1 0人(0)

(3) 「ふれあいの集い」について

5 5人(25) 4 1人(5) 3 12人(60)

2 2人(10) 1 0人(0)

問4 センター全体の満足度について

5 40人(51.3%)      4 16人(20.5%)  
3 22人(28.2%)      2 0人(0%)      1 0人(0%)

問6 「耳で聴くハザードマップ」について

1 利用している(来年度もサービスを継続してほしい) 13人  
16.7%  
2 利用している(来年度以降のサービスは不要) 1人  
1.3%  
3 利用していない 56人 71.8%

## 2 ご意見・ご要望と回答

○開館時間のところのご意見

利用者を増やすのであれば、(土)、(日)開館、あるいは体験会・センター見学会などを行ってみてはどうか。

○清掃状況

・ロービジョンなので、特段気になることはない。清潔さ(清掃状況)ではなく、「施設の設備について」としたらどうか。エレベーターで上がっていったら暗かったので、EVホールに自動的に明るくなる照明をつけてほしい。

(1) 図書について

- ・郵便が遅い
- ・メディアがたくさん入るから便利。サピエが便利。
- ・シリーズものが、順番通りに製作されずに、抜けて完成するときがあり、ちょっとビックリする

- 点字ディスプレイ導入で読む機会が多くなった。様々資料を提供してくださり感謝申し上げます
- サピエを自分で利用しているので、直接借りる機会が減っている。
- サピエにないような青森に関する郷土の本を増やしてほしい。

【回答】青森に関する本を読みたいというご意見は数名の方からいただいております。センターでは月1回、図書選定会議を開いています。今後とも郷土に関連のある作家や内容の図書・雑誌を選定するよう努めます。

また、シリーズものはなるべく順番に完成させたいところですが、必ずしも同じ奉仕員がそのシリーズを手掛けるわけではないため、後の巻が先に完成することがあります。ご了承ください。

郵便については発送が水曜日までですと、概ねその週に届くようです。（地域差があります）そのため、お急ぎの方はリクエストを火曜日までにいただくと助かります。

## （2）青い森通信について

- 電子メールで送付して頂いており、有難いです
- 東奥文芸を他のものにしてほしい
- デイジーしか利用しないので、点字で気になるタイトルがあっても、デイジーがまだ完成していなくて、もどかしい
- 情報をわかり易く伝えるよう工夫されている
- 利便性の高いアプリの紹介を検討してほしい
- 新刊案内はとばしている。サピエの新着情報を聞いているので、知らない作家の名前が出てくるとありがたい。
- 利用者と奉仕員の情報交換ができる場があるとよい。奉仕員の苦労話など。利用者の声を掲載すれば奉仕員のモチベーションにつながると思う。
- おしらせ、関係機関の内容紹介、目からうろこでした。

- 小学校での点字教室の予定も見かけますが、その様子も「青い森通信」でとりあげてほしいです。

【回答】 ご感想・ご要望ありがとうございます。いただいたご要望を反映できるよう、検討してまいります。

(3) はまなすシリーズについて

- 色々な新聞の記事が聞けるので
- 結構好き。新聞を読めないなので、そういうのあるんだ〜と思いながら聞いている。
- 地域情報が良い

【回答】 はまなすシリーズは新聞やインターネット等からの情報を収録した「話題あれこれ」、「地域情報」と「青視会コーナー」、東奥日報紙の図書情報「三市のベストセラー」と「東奥文芸」が一枚のCDに入ったものです。

「地域の情報が良い」と概ね好評を得ております。今後もテレビではあまり紹介されないような、青森県の魅力的な情報をお届けできるよう努めます。

(4) 「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」について

- 青森県外在住のためリアルでの参加が難しく、ライブ配信、難しいようであれば事後のオンデマンド配信や「青い森通信」の紙面でのレポートなど、何らかの形で、会場に行けなかった人にもどんなイベントだったのかがわかるようにしていただけたらと思い上記回答とさせていただきます。
- いつも行ってみたいと思うが車(家族)が理解してくれないため八戸でも開いてほしい。自分で出来る事は自分でやれという家族のため。

- 初めて参加して、こんなものなのかと分かりました。出入りが自由で各々必要な情報収集できる機会になると思いました。しかし、せっかくの機会なので、講話や相談等医師をまきこんだ内容も必要かなと思いました。
- 毎年思う事ですが、音声を聞きながら操作を行うブースは、会場を分けて、安心して音声を聞けるようにしていただきたいです。
- とても良い企画で利用者は助かります
- 青森県内のスクリーンリーダーなどのメーカーと直接話ができ、これまでで一番おもしろかった
- 今回の日程が県民駅伝と重なっていたので、少し悩んでしまい、参加をあきらめました。出来れば混雑しない時だとうれしいです。

【回答】これまで、福祉展は平成29年に弘前市、平成30年に八戸市と、青森市以外でも開催してきました。昨年度よりコロナ禍以前の通常通りの形で青森市で開催しました。

会場の様子の動画配信については、なかなか実現できておりませんが、今後とも「青い森通信」のお知らせで会場の様子をお伝えしてまいります。

会場や、内容について、いただいたご意見を参考に皆様が楽しんでいただけるよう職員一同努めてまいります。

#### (5)「視覚障がい者情報機器操作講習会」について

- よい行事だと思う。会の行事がある時にあわせてやってはどうか。
- 点字ディスプレイの講習があると良いかと思いました。私は点字図書や「青い森通信」を読む時は点訳データを点字ディスプレイに転送して読んでいます。点字ディスプレイによる読書がもっと広がってほしいと思います。
- 八戸でも開いてもらいたい
- 来年も参加したいと思っています。継続して開催してください。

- iPhone (voice over) を教えてくれる場があればよい
- プレクストークは電気屋さんにはないので、体験できる場は必要だが、全く情報のない(利用者でない)人に興味を持ってもらうのは難しいと思う

【回答】この講習会は、プレクストークやセンターで購入した情報機器の操作の講習を行い、より便利に読書を楽しんでいただくことを目的とし、令和2年度より開催しております。これまで、むつ市、八戸市、弘前市、黒石市、三沢市、青森市で開催しました。参加者が年々減ってきていることを踏まえ、来年度は「講習会」という固い雰囲気を変え、「体験会」という形で、新しい機器の体験や利用者同士の交流も併せて行う予定です。

#### (6)「ふれあいの集い」について

- 昔は車を出して皆で行っていたが、行事が重なることがある。
- 行ってみたくても行けないため八戸でも開いてほしい
- 講演会のテーマについて今一度の再考が必要ではないか、センター利用者奉仕員の懇談意見交換の時間をもっと充実させるべきと思う。講演と懇談を1年おきにやるのもひとつの案と思う。
- 懇談の時間が短かった
- 以前の状態に戻していただきたい、そう思います。奉仕員の皆様に直接感謝を伝えたいです。点字・デイジー図書が完成するまでの流れが知りたい。
- 主催者は色々なテーマの催しを考えてくださっているのは良いが、原点にかえてせっかくの三者交流の場なので、交流の時間を増やしてほしい。

【回答】「懇談や、情報交換できる時間をもっと増やしてほしい」という意見が多数ありました。他に開催地、開催場所等についての

具体的なご要望もありましたので、これらを踏まえて職員一同で検討・計画し、利用者、奉仕員の参加者皆様が楽しめるように努めてまいります。

#### (7) センターの広報について

- 特に若い世代へのPRや情報発信が弱いと感じます。「高齢者の高齢者による高齢者のためのセンター」では、今後利用者は減る一方だと思います。
- 市役所窓口で視覚障害者の手帳を交付する時いっしょにこのセンターやロービジョン相談の窓口を伝えてほしい。福祉の冊子だけ渡されても細かすぎる。視覚障害の人には別紙で渡してほしい。市役所はすぐに担当者が代わるらしいので、毎年4月に同じことを連絡するしかないと思う。
- 市役所にて障害者手帳交付時に情報があればもっと前にわかっていたのではないかと思います。今後、視覚障害になった方の一番最初に行く所、市役所の職員にも周知してもらいたいと思います。
- 啓発活動の幅も広がりつつあり努力のあとが見られこのまま継続されることを望みます
- 市町村、障害者窓口で視覚障害者が出向いた際にもれなくセンターの情報が伝わっていくしくみ作りが必要だと思います。加えて眼科医からの情報提供につながる工夫。(他数名の方同意見あり)
- 弘前市障害者生活支援センターとの情報交換なども一案かと思っています。
- 市町村の広報にセンターのことを掲載してみてもどうか。各ローカルのTVに広告を流す。
- 県外からの意見で恐縮ですが、これまで同様、中途失明者が引きこもらないように、積極的な啓発活動を行い、新規利用者が増えていくことを期待しています。そのためにも、眼科と連携したロービジ

ョンケアの取り組みの推進に期待します。

【回答】市町村や、眼科との連携が大切というご意見を多数いただきました。以前「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」において眼科医会のブースを設けたことがありました。また去年は、福祉展のチラシを市内の眼科へ送付し、設置をお願いしたところ、今年度は新たに5名の利用者が登録しました。今後も必要な方にセンターの情報が届くよう自治体、眼科医会等と連携してセンターのPRをしてまいります。利用者の皆様のお知り合いに、未利用者がおられましたら、是非センターの紹介をお願いいたします。

#### (8) アンケートについて

- もっと具体的な質問の方が答えやすいと思う。センター全体の満足度では漠然としている。このような質問が答えづらくて「わからないからいいや」となり、回答率を下げている要因になっているのではないか。
- アンケートについて、職員が電話する等工夫して回答率をあげてほしい
- アンケートの回収率が低く郵便料金もかかるので工夫したほうがいいと思う。同じ人の回答ばかりだと片寄った結果になるのではと思う。

【回答】アンケートについて、「毎年同じ質問項目は意味がないのではないか」という御意見もありますが、鑑文で説明している通り、県からの指定項目で、変更できない設問があるためご了承ください。

センターのよりよい運営のため、引き続き皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(9)「耳で聴くハザードマップ」について

- 容易に操作できることが良いと思います
- 利用はしていないが、そういった情報を青い森通信でお知らせしてくれるのはとても助かる。PC・スマホ持っている人は良いが…持っていない人は、災害時等は役所に直接TELするしかない。
- スマホに慣れてきたらサービスを使ってみたいと思いますので、継続を希望します
- スマホを使えないので

【回答】上記は一部抜粋しましたが、他にも貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご意見・ご要望は全て「耳で聴くハザードマップ」担当の県防災危機管理課にお伝えします。